

SANYO

取付説明書

ポータブルHDDナビゲーション  
車載用取付キット・パーキングブレーキ接続ケーブル・GPS外部アンテナ・  
TV/VICS外部アンテナおよび取付部品一式・12V車用シガーライター接続ケーブル

品番 NV-HD800

お買い上げいただきまことにありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、この取付説明書をよくお読みください。  
なお、後々のため、この取付説明書は大切に保管してください。

構成

品

【    】内はサービス販売部品コードです。  
新たにご購入の際は、【    】内の10桁のコードでご注文ください。

車載用取付キット一式 [661 098 9087]

スタンドベース  
[661 094 2846]

コードクリップ  
[661 077 2818]

クッション材  
(M4×12)  
[411 191 1200]

クリーナー  
[661 048 3448]

ナビ取付ステー  
[661 098 9094]

12V車用シガーライター接続ケーブル  
[661 080 7701]

1個

約2.7m

パーキングブレーキ接続ケーブル式  
[632 763 3549]

セルブロックコネクター  
[632 635 1116]

パーキングブレーキ接続ケーブル  
[632 785 2292]

1個

約1.5m

GPS外部アンテナおよび取付部品一式 ※NVP-N2

GPS外部アンテナ  
1個

防水パッキン  
[661 032 9760] または  
[661 077 3341]

コードクリップ  
[661 077 3358] または  
[661 032 9777]

2個

GPSアンテナ取付板  
[661 031 4483] または  
[661 065 6804]

1個

TV/VICS外部アンテナおよび取付部品一式  
[661 051 7037]

アンテナユニット (ロッド)  
[661 010 9683]

アンテナユニット(ベースコアツキ)  
[661 051 7044]

約7m

1個

クリューナー  
[632 821 0374]

取付具一式 [661 010 9737]

コードクランパー  
3個

六角レンチ  
1個

防水ゴム  
1個

防水ゴム用両面テープ  
1個

※上記記載の“m”は各部品のおおよその長さを表わしています。また、\*印の品番は別売商品の品番です。

取り付けや接続、その他不明な点はお買上げの販売店にご相談ください。

本体の取付寸法について

※本体の取り付けには下記サイズの取付スペースが必要となります。  
※スタンドベースを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。  
裏面の **本体の取り付けかた** 手順2

上側に取り付けた場合

下側に取り付けた場合

約190mm

約190mm

最大約190mm

最大約40mm

幅198mm

高さ134mm

※突起部(アンテナ等)は除く。

お客様ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

お客様がご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様のお同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。  
<利用目的>  
●お客様がご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関するご相談、お問合せおよび修理の対応のみを目的として利用します。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。  
<業務委託の場合>  
●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理、監督をいたします。  
個人情報の取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://www.sanyo.co.jp> をご覧ください。

■お買物に関するご相談窓口

TEL (072)870-7084  
受付時間：月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)  
午前9:00～12:00、午後13:00～17:00

■商品の操作方法に関するご相談窓口

TEL (0088)22-3478  
受付時間：月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)  
午前9:00～12:00、午後13:00～17:00

■修理に関するご相談窓口

お買い上げの販売店、または取扱説明書(本編)記載の「お客様ご相談窓口」(243、244ページ)にお問い合わせください。  
※住所、電話番号は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。お電話の際には電話番号をよくお確かめください。

三洋電機株式会社

コンシューマ企業グループ

コンシューマ営業本部

三洋マルチメディアセールス株式会社

カーエレクトロニクス事業推進部

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

Printed in Japan

2RR6P12A22500A

初めてお使いの方へ

※本機の取り付けには下記サイズの取付スペースが必要となります。  
※スタンドベースを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。  
裏面の **本体の取り付けかた** 手順2

現在地の測位をするには

下記にしたがって、GPS衛星電波を受信してください。現在地の測位に使用できる電波を受信すると、現在地表示画面左上のGPS受信表示の背景色が緑色になり、実際の現在地を表示します。  
※GPS受信表示の背景色が灰色のときは、最後に測位した現在地を表示しています。  
お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、東京駅付近を表示します。  
特に建物の中ではGPS衛星の電波は受信できません。  
現在地を測位したい場合は、GPS外部アンテナを屋外に出し、電波を受信してください。

本機を車載以外で使用する場合

本機に付属のGPS外部アンテナを接続します。  
このとき、GPS外部アンテナは、見晴らしの良い屋外の電波をさえぎる障害物のない場所に置きます。  
※建物や乗り物の中などでは、屋根などの障害物にGPS衛星からの電波がさえぎられて、現在地の測位ができませんのでご注意ください。  
※ナビ本体とGPS外部アンテナの干渉を防ぐため、30cm以上離してご使用頂くことをおすすめします。

本機を車載用として使用する場合

本機に付属のGPS外部アンテナを接続します。  
このとき、GPS外部アンテナは、車外またはダッシュボード最前部など、車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平に取り付けます。  
車内に取り付けると電波を正確に受信できない場合がありますので、できるだけ車外に取り付けてください。(車内の場合は付属のGPSアンテナ取付板が必要です。)  
※車への取り付けについては、“GPS外部アンテナの取り付けかた”をご覧ください。

現在地の測位ができない場所について

GPS外部アンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。現在地の測位に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。  
次のような場所では、GPS衛星からの電波が受信しにくいため、移動してください。  
●トンネルの中 ●高層ビルに囲まれたところ ●樹木の密集したところ ●高速道路の下など

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。  
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、現在地表示画面左上のGPS受信表示の背景色が緑色になり、測位した現在地を表示します。  
本機をお買い上げ後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、実際の現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。)通常は電源を入れてから数分で表示します。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がある内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容であることを示しています。

禁止

この記号はしてはいけないことを表しています。

指示

この記号はしなければならないことを示しています。

警告

■自動車などの運転中は画面を注視しないでください。交通事故の原因になります。

■運転者の視界を妨げる場所へは絶対に取り付けしないでください。交通事故の原因になります。

不安定な場所(傾いた場所・きわだった曲面など)には取り付けしないでください。落ちたり、傾いたりしてけが、事故の原因になります。

注意

運転操作<ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの操作>を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。

■スタンドベースの取り付けは安全のためしっかり固定できる場所へ貼り付けてください。また、ダッシュボードの材質によって(PP・ポリプロピレン製など)は両面テープだけでは強い接着力が得られないので、付属のタッピングビス3本を使用してしっかりと固定してください。  
※この場合は、ダッシュボードに穴があきますのでご注意ください。  
(※取り付けの面がきわだった曲面の場合は接着面積が小さくなり不安定になるため、取り付けられない場合があります。)

■エアバッグ(SRSデュアルエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグ等メーカーにより名称は異なる。)が装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付け、または配線しないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。(※取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談の上、取付位置を決めてください。)

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取扱わなかった場合や常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。  
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

注意

直射日光が長時間当たっていた場所などは金属部分が高温になり、やけどをする可能性があります。角度調整は、温度が下がってから行なってください。

貼付面の表面が本皮・木製パネル・布張りなどの樹脂製でない場合は表面仕上げを傷める場合がありますので貼り付けできません。

次のような場所には取り付けしないでください。  
●運転や乗降の妨げになる場所 ●同乗者の安全を損なう場所  
●雨がふきこんだり、水がかかったりする場所(アンテナを除く)  
●振動の激しい場所、不安定な場所 ●ヒーターの熱風などが当たる場所

■スタンドベースをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがしてください。強力な接着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面の表面仕上げを傷める原因となることがあります。

●ポータブルHDDナビゲーションの裏面を強く押さえずに、ディスク挿入口カバーの変形・ディスクの読み込み不良・傷などの原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けるにあたって

■気温が低い(20度以下)場合は両面テープの接着力が低下します。  
車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。

■取付場所の汚れは付属のクリーナーできれいに拭き取り、乾燥してから貼り付けてください。

■両面テープは一度はがすと再度接着することはできません。

■取付後は定期的に貼付状態を確認してください。

■スタンド各部の固定ネジはしっかりと締めつけてください。

■スタンドベース貼付後、すぐにナビゲーションを取り付けしないでください。かならず、未装着状態で24時間以上放置してください。

■スタンドベース取付後は接着面全体をしっかりと押さえてください。

■付属のクッションはナビゲーションの振動、ブレを抑えるため、説明書にしたがってかならず使用してください。

さむい

クリーナーできれいに!

貼付は1度だけ!

24時間以上放置して

しっかりと押さえること

クッション使用

GPS外部アンテナの取り付けかた

1

ポータブルHDDナビゲーションに接続する

取り付けかた

取り付けかた

突起部を背面側に向けて取り付けてください。

1の突起部を押したまま2の方向へ外します。

2

車体へ取り付ける

車内に取り付けると電波を正確に受信できない場合がありますので、できるだけ車外に取り付けてください。

車のボディによって電波をさえぎらない場所(車外またはダッシュボード最前部)に水平に取り付けてください。  
※しっかりと取り付けるために、必ず車体の平らな面に取り付けてください。

警告

※エアバッグ(SRSデュアルエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグ等メーカーにより名称は異なる。)が装着されている車に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付け、または配線しないでください。  
(取付位置の安全を考慮し、販売店にご相談の上、取付位置を決めてください。)

ご注意

■GPS外部アンテナ及びコードは、テレビやラジオのアンテナ及びコードから離してください。(テレビやラジオの受信妨害の原因となります。)

■防水パッキン、コードクリップ、GPSアンテナ取付板を貼り付けるときは、貼り付ける場所をきれいにふいてください。(汚れ等が残っていると接着力が低下します。)

■車体等によりアンテナコードがはさみ込まれないようにご注意ください。

■電波を安定して受信するために、GPS外部アンテナは車外への取り付けをおすすめします。

■GPS外部アンテナを車内でご使用の場合、ナビ本体と外部アンテナの干渉を防ぐため、30cm以上離してのご使用をおすすめします。

■ダッシュボード最前部に取り付ける場合、一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。また、お車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

■車内に取り付ける場合ビラーやワイパーのすぐ近くにアンテナを取り付けると、電波がさえぎられ受信感度が落ちることがあります。

助手席側から引き出す場合(取付例)

●車内を配線し、助手席側より引き出します。

●必要に応じてコードクリップで固定します。

●GPS外部アンテナを車体の平らな金属部分に水平に取り付けます。

GPS外部アンテナ

※ドアのゴムパッキン部にアンテナコードを通し、車外に出してください。

GPS外部アンテナコード(シートの下側)

※シートレール等にはさみ込まないようにご注意ください。

トランクルームから引き出す場合(取付例)

●車内を配線し、トランクルームより引き出します。

●防水パッキンにアンテナコードを通し、車両の防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。

●必要に応じてコードクリップで固定します。

●GPS外部アンテナを車体の平らな金属部分に水平に取り付けます。

車内に取り付ける場合(取付例)

●車内を配線し、必要に応じてコードクリップで固定します。

●GPS外部アンテナをダッシュボードの平らな部分に水平に取り付けます。

※受信できない場合は、車外へ取り付けてください。

※GPSアンテナ取付板を使用せず、GPS外部アンテナだけでのご使用は、おやめください。  
受信感度が極端に悪化します。(車外に取り付けられる場合は、GPSアンテナ取付板は不要です。)



## 本体の取り付けかた

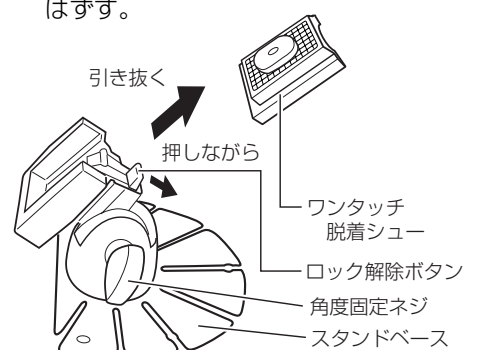
### 取付作業前の準備

- 気温が低い(20度以下)場合は両面テープの初期接着力が弱まります。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- スタンドベース貼付場所は必ず付属のクリーナーで貼付面をきれいに拭き取り、完全に乾燥してから貼り付けてください。車によってはクリーナーでダッシュボードが白くなる場合があります。十分確認してからご使用ください。また、目に見えにくいレザークワックス等の表面保護材が塗布されている場合があり、両面テープの接着力が著しく低下し、落下の原因となるおそれがあります。
- スタンドベースの両面テープは一度はがすと再度接着することはできませんのでご注意ください。

### 1 スタンドを組み立てる

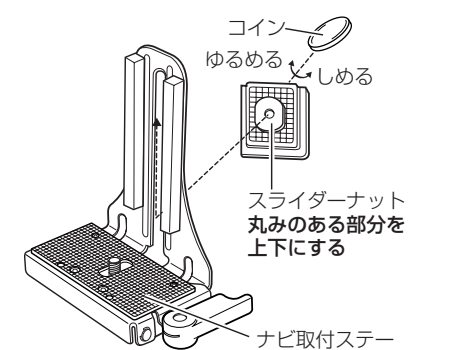
●前後左右の角度と上下位置を調整できます。

1. 角度固定ネジをゆるめて向きをイラストのように変え、ロック解除ボタンを下に押しながらワンタッチ脱着シューをはずす。



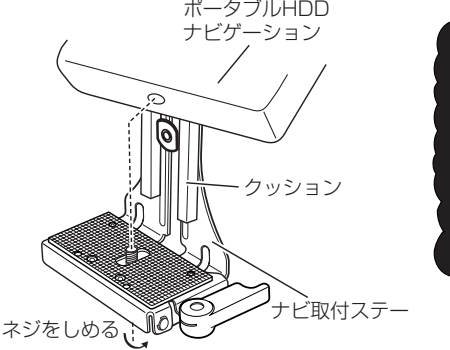
ワンタッチ脱着シュー  
ロック解除ボタン  
角度固定ネジ  
スタンドベース

2. ネジをゆるめて、スライダナットをナビ取付ステー中央のみぞに通した後、ネジをしめて固定する。



コイン  
ゆるめる  
しめる  
スライダナット  
丸みのある部分を上下にする  
ナビ取付ステー

3. ナビ取付ステーをポータブルHDDナビゲーションに取り付ける。



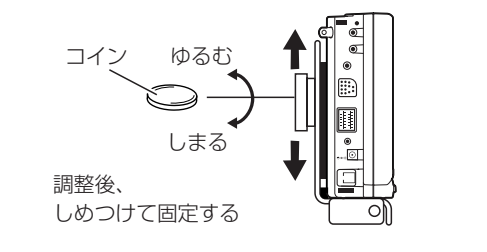
ポータブルHDDナビゲーション  
クッション  
ナビ取付ステー  
ネジをしめる

△ 注意

ポータブルHDDナビゲーションの裏面を取付ステーのクッションに密着させ、ネジを穴にあわせてしめていきます。そのとき裏面を強く押さえずと、ディスク挿入口カバーが変形してディスクのあたりの原因となり、ディスクの読み込み不良やディスクに傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

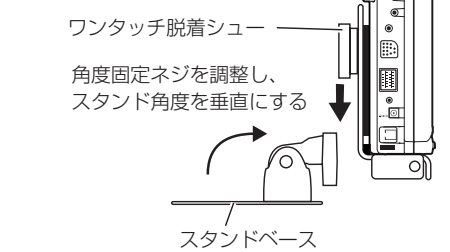
4. 上下位置および角度を調整する。

① 上下位置を調整する。



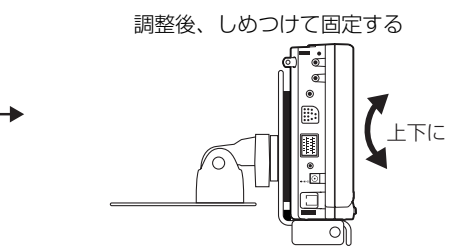
コイン  
ゆるむ  
しめる  
調整後、しめつけて固定する

② スタンドベースに装着する。

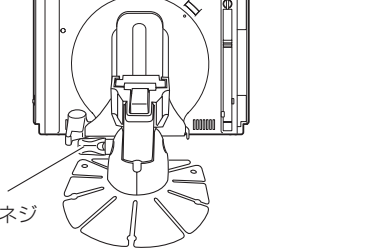


ワンタッチ脱着シュー  
角度固定ネジを調整し、スタンド角度を垂直にする

③ 角度を調整する。



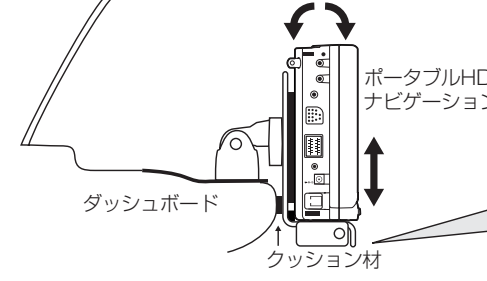
角度固定ネジをゆるめて上下左右の角度を調整する  
調整後、しめつけて固定する



左右に  
上下に  
角度固定ネジ

### 2 取り付け位置を決める

●ダッシュボード上の見やすいところに取り付け位置を決めます。スタンドベースの貼付面をダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。



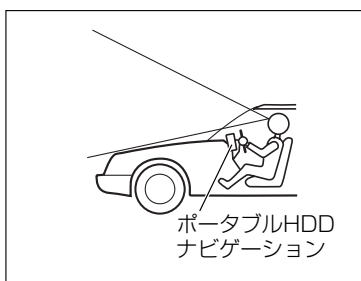
ポータブルHDDナビゲーション  
ダッシュボード  
クッション材

※角度、上下位置の調整方法は上記(①、③)参照

ナビ取付ステーとダッシュボードが接触する場所に付属のクッション材を貼り付けてください。クッション材はナビ取付ステーがダッシュボードのどちらかに貼り付けてください。

△ 警告

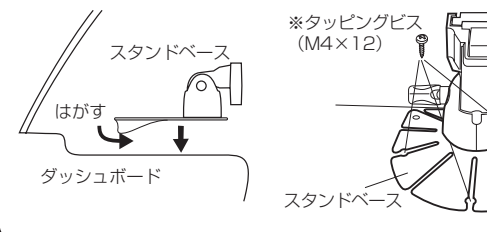
運転席から見てポータブルHDDナビゲーションが視界を妨げないことを確認してください。視界が妨げられる場合は、取付場所を移動してください。



ポータブルHDDナビゲーション

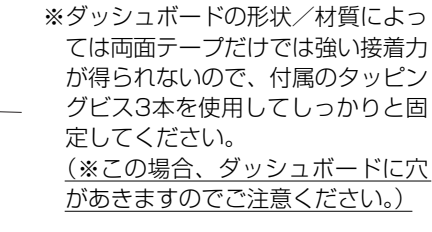
### 3 スタンドを取り付ける

●ポータブルHDDナビゲーションと、ナビ取付ステーをスタンドベースよりはすし、スタンドベースの裏面のシートをはがし、位置決めした場所(ダッシュボード)にしっかりと押さえて貼り付けます。



スタンドベース  
ダッシュボード

※タッピングビス(M4×12)



※ダッシュボードの形状/材質によっては両面テープだけでは強い接着力が得られないので、付属のタッピングビス3本を使用してしっかりと固定してください。  
(※この場合、ダッシュボードに穴があきますのでご注意ください。)

△ お願い

スタンドベースを貼り付け後、ポータブルHDDナビゲーションを一度取り外し、24時間以上スタンドベースだけの状態で放置してください。貼付直後は密着力が弱く、貼付けがはがれることがあります。

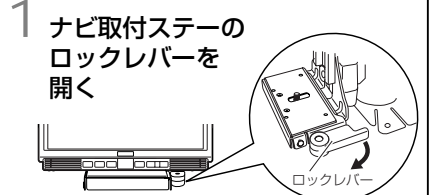
### 4 ポータブルHDDナビゲーションを取り付ける

※スタンド各部の固定ネジはしっかり締めつけてください。締めつけが弱いと、自動車の振動などでネジがゆるみ、ポータブルHDDナビゲーションの取り付け角度が変わったり、ポータブルHDDナビゲーションがはずれるおそれがあり危険です。

## ディスクの交換について


△ 注意 ディスク交換の際は、ポータブルHDDナビゲーションをしっかりと支えて交換してください。ポータブルHDDナビゲーションの重さで取付ステーがダッシュボードからはがれたりポータブルHDDナビゲーションがナビ取付ステーから外れて、ケガや故障の原因となるおそれがあります。

1 ナビ取付ステーのロックレバーを開く



ロックレバー

2 スタンドベース、ナビ取付ステーをしっかりとおさえながら、ポータブルHDDナビゲーションをゆっくり手前にたおす



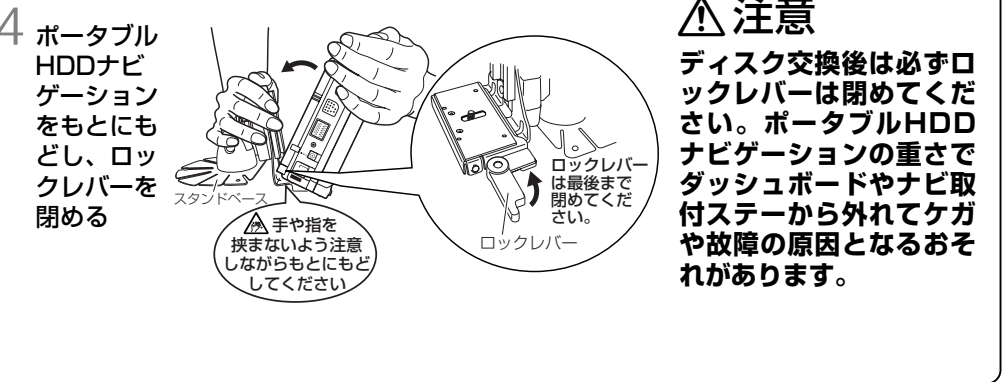
スタンドベース

3 ディスクを交換する

△ 本編「ディスクを入れる／取り出すには」33、34ページ参照。

※ディスク交換中も必ずポータブルHDDナビゲーションを支えてください。また、ディスクの印刷面はできるだけさわらず、中心の穴と端をはさむようにして持って交換して下さい。

4 ポータブルHDDナビゲーションを戻す



ロックレバーは最後まで閉めてください。  
△ 手や指を挟まないよう注意しながらもともとに戻してください。

△ 注意

ディスク交換後は必ずロックレバーは閉めてください。ポータブルHDDナビゲーションの重さでダッシュボードやナビ取付ステーから外れて、ケガや故障の原因となるおそれがあります。

## TV/VICS外部アンテナの取り付けかた

### 取り付ける前に

- 冬期など気温が低い時は、接着力を増加させるためアンテナベースの両面テープ粘着面を温めて貼り付けてください。(目安として約30℃)
- 貼り付けた後は…走行してもさしつかえありませんが、24時間以内は絶対に水をかけたり、雨に当てたり、引っ張ったりしないでください。
- 湿気が多いとき(霧雨時等)は…屋外での取り付けはしないでください。(接着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)

### 取付場所について

- アンテナ取り付け位置は表面が平らな場所を選んでください。
- リアハッチ等の開閉の妨げにならない場所を選んでください。
- 車幅からはみ出さない場所、車の前後からはみ出さない場所に取り付けてください。
- TV/VICS外部アンテナを取り付ける際、ラジオ、パーソナル無線、自動車電話等、それらのアンテナから30cm以上離して取り付けてください。
- フロントガラスやサイドガラスには取り付けしないでください。

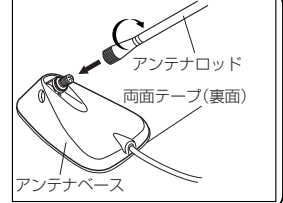
### 取り付けかた

1 アンテナユニットを組み立てる

アンテナベースに、アンテナロッドを時計回りに回しながら差し込み、奥までしっかりと締めてください。

△ 注意

洗車時や長時間車から離れるときには、逆の手順でアンテナロッドをはずしてください。

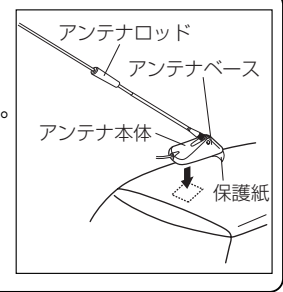


2 貼り付ける部分をきれいにふき取る

貼り付ける前に、取付面のワックスや汚れなどを付属のクリーナーでふきとり、乾いた布等で水分をきれいにふき取ってください。

3 アンテナベース裏面の保護紙をはがし、車体へ貼り付ける

- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようにしてください。また、脱落の原因になりますので両面テープの貼り直しはおやめください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは雨にあてたり、強い力を加えないでください。



### アンテナの調整

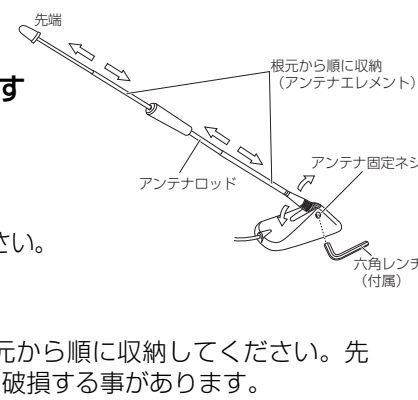
1 アンテナロッドの先端を持って引き伸ばす

2 角度調整する

- 地面に対して、アンテナロッドが45°の角度になるように調整してください。
- 受信状態が悪いときは、長さや角度を変えてください。

3 付属の六角レンチで固定する

- ゆるまないよう、固定してください。
- アンテナロッドを縮める場合は、ロッドの根元から順に収納してください。先端をつかんで収納した場合、ロッドが曲がり、破損する事があります。



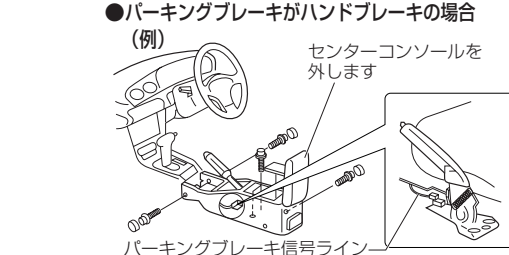
## パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するには

走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり、大変危険です。本機では、お客様の安全を守るため、走行中の操作を制限しています。走行中か停車中かを判断するために、パーキングブレーキ接続ケーブルを接続します。パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。

### パーキングブレーキ信号ラインの位置

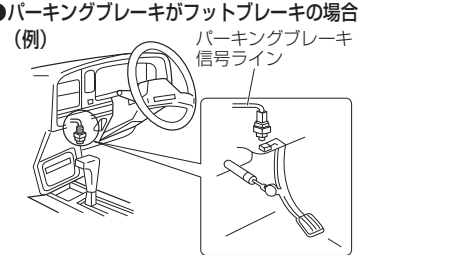
車種によって異なります。詳しくは、お車をお買い上げのカーディーラーにご相談ください。

●パーキングブレーキがハンドブレーキの場合(例)



センターコンソールを外します。

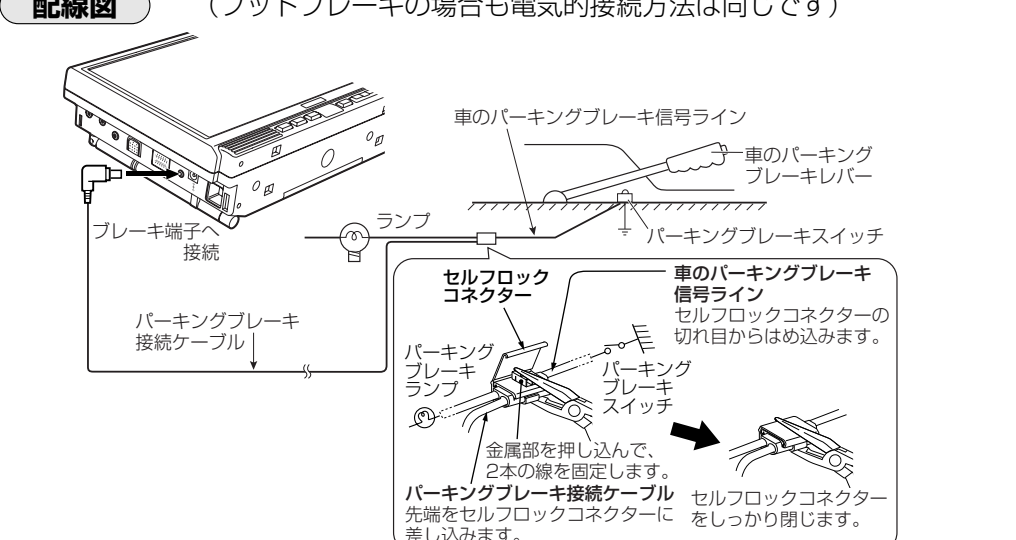
●パーキングブレーキがフットブレーキの場合(例)



パーキングブレーキ信号ライン

△ 配線図

(フットブレーキの場合も電氣的接続方法は同じです)



ブレーキ端子へ接続  
パーキングブレーキ接続ケーブル  
車のパーキングブレーキ信号ライン  
車のパーキングブレーキスイッチ  
セルフロックコネクタ  
セルフロックコネクタの切り目からはめ込みます。  
パーキングブレーキ接続ケーブルの先端をセルフロックコネクタにしっかりと閉じます。  
金属部を押し込んで、2本の線を固定します。  
セルフロックコネクタをしっかりと閉じます。

● 本機が車側に正しく接続されているか接続確認画面で確認してください。

△ 取説説明書(本編)128ページ参照

1. パネルの[メニュー]ボタンを押し、画面の[情報]の[車側センサー]ボタンをタッチする。

※ 正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキを引いているときは、"ON"、引いていないときは、"OFF"を選択表示します。

2. 確認が終わったら[現在地]ボタンを押す。

△ 警告

パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するときは、パーキングブレーキを引いて、エンジンを切って行ってください。車が動いて、事故の原因になります。

### アンテナコードの配線のしかた

- 配線をする前に
- アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
  - 車の雑音を受ける場合がありますので、アンテナコードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行なってください。
  - アンテナコードの長さは約7mです。同梱のナビ本体に接続出来ることを確認のうえ、貼り付けてください。

### △ 警告

エアバッグ(SRSデュアルエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグ等メーカーにより名称は異なる。)が装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付け、または配線しないでください。

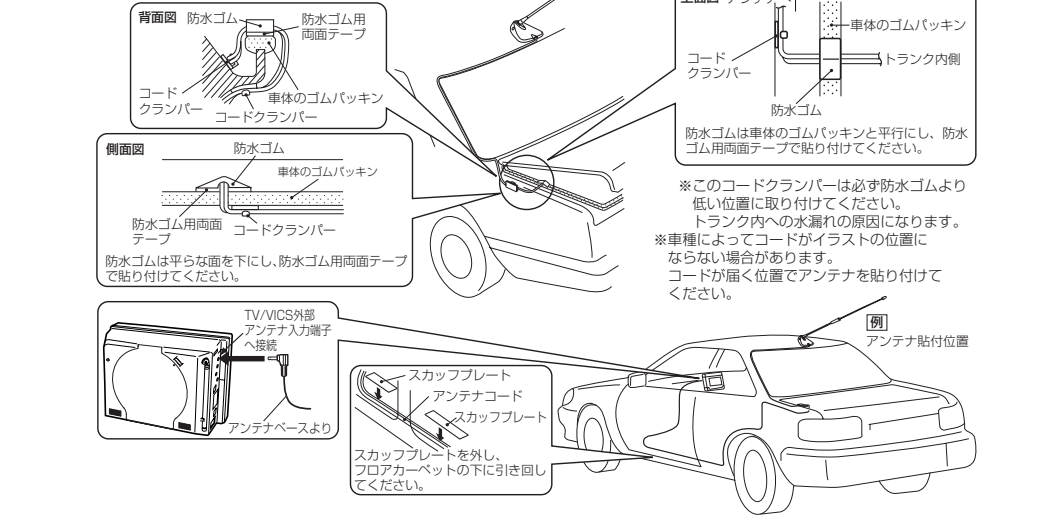
### △ 注意

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

### △ 注意

- アンテナ本体およびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。(変質したりすることがあります。)
- アンテナエレメントにゴミ等が付着した(アンテナのエレメントがスムーズに伸縮しなくなった)場合は布等できれいにふいてください。

### ケーブルの配線図



上図例: アンテナへ  
防水ゴム  
防水ゴム用両面テープ  
防水ゴムは車体のゴムバックキと平行にし、防水ゴム用両面テープで貼り付けてください。

※このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因になります。※車種によってコードがイラストの位置にならない場合があります。コードが曲く位置でアンテナを貼り付けてください。

側面図: 防水ゴム  
防水ゴムのゴムバックキ  
防水ゴム用両面テープ  
防水ゴムは平らな面を下にし、防水ゴム用両面テープで貼り付けてください。

△ 例: アンテナ貼付位置

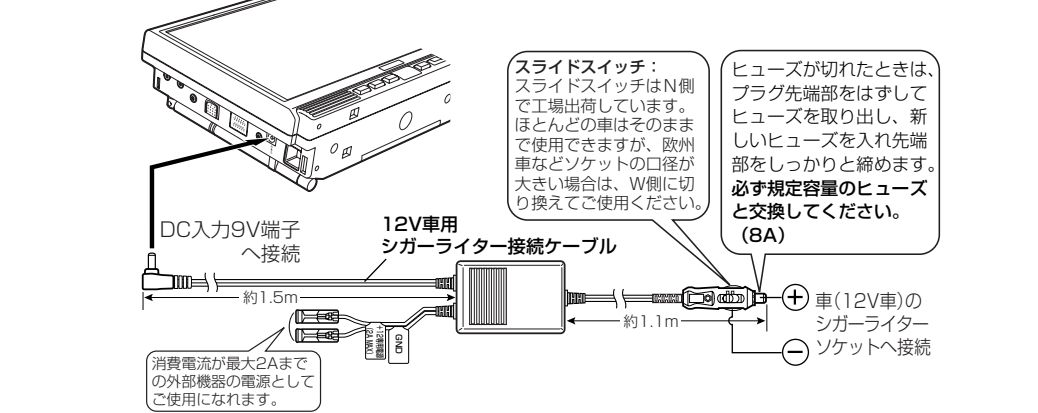
スクラッププレート  
アンテナコード  
スクラッププレート  
スクラッププレートを外し、フロアカーペットの下に引き回してください。

### 操作や機能の制限について

主な操作・機能	走行中	停車中 <sup>※2</sup>
メニュー(ナビゲーション)	△ <sup>※1</sup>	○
クイックメニュー(ナビゲーション)	△ <sup>※1</sup>	○
スクロール(ナビゲーション)	△(地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。)	○
TV/デジタルTV/VIDEO	△ <sup>※3</sup> (映像が出ず音声のみ)	○
DVD	△ <sup>※3</sup> (映像が出ず音声のみ)	○
CD	○	○
MP3	○	○

- : 制限なし/△: 一部制限あり
- ※1 走行中操作できない項目は暗くなります。
- ※2 停車中とは、停車しパーキングブレーキを引いた状態です。
- ※3 走行中でも音声は出ます。
- △ お願い
- 安全のため、パーキングブレーキを引かないと、テレビ、ビデオ、DVDを見たり、メニューの操作をすることはできません。
- パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、VICSの機能が使えません。
- 車のパーキングブレーキ信号ラインが細い場合、接続が不十分になり正しく動作しないことがあります。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやバックランプ、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するか確認してください。

## 12V車用シガーライター接続ケーブルを接続するには



スライドスイッチ: スライドスイッチはN側で工場出荷しています。ほとんどの車はそのまま使用できますが、欧州車などソケットの口径が大きい場合は、W側に切り換えてご使用ください。

ヒューズが切れたときは、プラグ先端部をはずしてヒューズを取り出し、新しいヒューズを入れ先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズと交換してください。(8A)

消費電流が最大2Aまでの外部機器の電源としてご使用になれます。

△ 注意 本機を接続すると、シガーライターの電源が入っている間は、バッテリーが消費され続けます。エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったら、必ず、車のシガーライターソケットから、12V車用シガーライター接続ケーブルを外してください。長時間放置するとバッテリーがあがる恐れがあります。

△ 注意 エンジン停止中にナビゲーションを使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。